

臨床研究に関する公開情報

国立病院機構西新潟中央病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法等についてお知りになりたい方や、この研究のためにご自分のデータが使用されることをお望みでない方は、下記「問い合わせ先」に連絡をお願いします。なお、個人情報や、研究の知的財産等、お問い合わせ内容によっては、お答えできない場合もありますのでご了承下さい。

記

[研究課題名]

当院の重症心身障害病棟におけるセル看護提供方式[®]導入後の看護師の認識の変化

[研究責任者]

看護部 2 病棟 榎田裕之

[研究の目的]

「患者や看護師にとって利益とならないムダを省いたケアの受け手の価値を最大化する」¹⁾ことを目的に 2023 年度 4 月から当院にてセル看護提供方式[®]が導入され、タイムスケジュールとマニュアルが整備されました。当院では、西新潟セル看護とし、導入して 1 年が経過した。当院の重症心身障害病棟で更なる看護ケア向上を目指し先行研究を探しましたが、重症心身障害施設におけるセル看護提供方式[®]の実践に関する先行研究がありませんでした。そのため、重症心身障害施設におけるセル看護提供方式[®]の導入後の成果と看護師の認識の変化を明らかにしたいと考えました。

[研究の方法]

●研究期間

院長承認後から 2024 年 10 月末日

●研究方法

1) セル看護提供方式[®]の導入後の成果

ヒヤリ・ハット、褥瘡発生件数、ケア時間、抑制介助時間について、セル看護提供方式を導入する前の 2022 年度と導入後の 2023 年度のデータを比較して考察します。

2) 看護師の認識の変化

- ①対象病棟の看護師に 2022 年と 2023 年度における看護ケアの変化の有無、業務負担の軽減の有無、モチベーションの変化について思い出してもらい、「看護サービスに関する 10 項目」と「職場環境に関する 10 項目」の合計 20 項目をアンケート用紙にて回答してもらいます。
- ②アンケート用紙の回答は 1～5 段階で評価してもらい、各項目のデータの標準偏差を出します。
- ③本研究以前に実施した 2023 年度のアンケートの結果を参考資料として活用します。
- ④本研究より得られた結果と 2023 年度に実施したアンケート結果を統合し、看護ケアの質と看護サービスの向上が図られたか考察します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

アンケートは無記名で行われ、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は使用しません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構西新潟中央病院

所属：看護部2病棟

職名：副看護師長

氏名：槇田裕之

電話： 025-265-3171（代表）